

清新中学校だより 清風

令和2年9月1日
第174号

悔しさをバネにする力

校長 江戸谷 智章

8月20日、第61期王位戦で史上最年少（18歳1カ月）で王位と棋聖の2冠を獲得し、さらには八段にも昇段した藤井聡太新王位（王位とは将棋の王位戦で勝者に与えられる称号）について、今や知らない人はいないのではないかと思います。

彼は14歳2ヶ月（32年ぶりの史上最年少記録を更新）でプロ入りを果たすと、そのまま無敗で公式戦最多連勝記録にもなった29連勝を樹立し、さらには、今年7月に行われた第91期棋聖戦で、17歳11カ月という若さで念願の初タイトルを獲得し、勝利するたびに「最年少記録更新」という文字が報道されるなど、たえず世間の注目を集めていることは承知のとおりです。

私が藤井聡太新王位をはじめて知ったのは、彼がまだ中学生で連勝記録を更新している最中、インタビューに受け答えをしている様子をテレビで見たのが最初だったと記憶しています。多くの報道陣から将棋とは関係のない芸能人的な質問をあげせられても、けっして動じることなく、自分の言葉で自分の思いをできる限り正確に伝えようとする大人顔負けの対応を見て、あまりに中学生離れしていてすごいなと感じたものでした。

また、彼の語彙の豊かさにも驚かされます。彼が11連勝を決めた際のインタビューでは、「（11連勝は）自分の実力からすると望外（ぼうがい）です・・・」（望外とは『望んでいた以上によい結果であること』という意味）と、たくさんのカメラを前に淡々（たんたん）と答え、また、18連勝を決めた際、司会からコンピュータ学習が将棋観にどんな影響を与えたかの質問にも、「序中盤は人間からすると茫洋（ぼうよう）としていてなかなか捉えづらいですけど・・・」（茫洋とは『広々として限りのないさま』を表現する言葉）と答えてみたり、その他にも、醍醐味（だいごみ）、冥利（みょうり）、僥倖（ぎょうこう）、流動性知能（りゅうどうせいちのう）等々、なかなか大人でも日常会話では使うことのない（私だけか・・・）言葉を自分の言葉として使いこなしている様子がまさに衝撃的でした。

調べてみると、彼の語彙の豊かさはやはり日頃の読書によるものらしく、小学5年生で司馬遼太郎『竜馬がゆく』を全巻読破し、新聞にいたっては毎日隅から隅まで読むほどに活字に親しんでいるとのこと。将棋に対する前向きさと同時に、将棋を通して人としての幅を広げていこうとする姿勢に、私自身も見習わねばならないなと思った次第です。

しかし、そんな藤井新王位にも苦い経験がいくつかあったといえます。それは小学校2年生で出場した「こども大会」でのことだそうです。この大会は決勝戦まで残ると羽織・袴を着て、プロの棋士が対局するのと同じ壇上に上られるのだそうで、モチベーションもかなり高かったそうです。藤井少年は見事に決勝戦まで進出したものの、本番で致命的なミスをおかしてしまいます。結果、準優勝にはなったものの、悔しさのあまり表彰式では人目をはばからず号泣したといえます。



また、同じく小学校時代に、憧れの棋士である谷川浩司九段に指導対局してもらった際に、藤井少年が劣勢となったことを気遣った谷川九段が「引き分けにしようか」と提案した瞬間、自身も負けを察してか将棋盤を抱えて泣き始め、最後には、母親に抱きかかえられながらその場をあとにしたこともあったそうです。

藤井新王位は、当時のことを次のように振り返っています。「小さい頃は、負けるとすぐに泣いていました。悔しい気持ちを抑えられなかったんです。でも、その後、徐々に悔しさをコントロールできるようになり、奨励会（プロ棋士を養成する研修の場）に入ってからあまり泣かなくなりました。負けたことに正面から向き合うのは大変なこと。けれど、向き合って悔しい気持ちを次の対局へのモチベーションに切り替えていくことが大事だと思っています」（『プレジデント Family2019年秋号』から一部抜粋）

頑張ったことが報（むく）われることなく悔しい思いをしたという経験は誰にもあることと思います。藤井新王位とまではいかないまでも、私たち自身の中にも現状に満足せず、悔しさや自分の未熟さと正面から向き合い、プラスの力に変える力が必ずや備わっているはず。だとしたら、いつまでも塞（ふさ）ぎ込んでばかりはいられません。足を踏み出すのかそれとも立ち止まるのか、年はとって心も力を育てていかなければと思っている今日この頃です。



「今できることをしっかりと」

清学祭体育部門長 藤原 智生

今年は、コロナウィルス感染症の影響により世界中で行われているイベントが中止や延期の措置をとらざるを得ない状況になっています。清新中学校でも新しい生活様式と照らし合わせながら、例年と同じ形で「清学祭」を開催できるのかどうか先生方と何度も議論を重ねました。

体育の部は、毎年約1000人を超える人数がグラウンドに密集することや従来の競技により生徒同士の密接が起こることを考えて中止という判断をしました。しかし、行事が中止になってしまうことで生徒の皆さんの「大切な思い出」がた



だ奪われてしまうことは絶対にあってはならないという思いがありました。「行事」＝「以前と同じ」という考えをなくして、「全校生徒の安心・安全」や「現状にあわせてできること」を大切にしていから考えました。

その結果、10月13日（火）に今年度初めての学校行事として「体育的行事」を実施できるところまで準備を進めることができました。これから当日に向けて清新中生一丸となって準備を進めましょう。準備から本番まで「本気」で臨む清新中生の姿を楽しみにしています。

9月の主な日程

下記の日程につきましては、今後変更が予想されます。ご了承ください。

9月

- 2日（水）PTA実行委員会
- 3日（木）諸活動なし
- 7日（月）諸費集金日 諸活動なし
- 8日（火）内科検診①PM
- 9日（水）内科検診②AM
3年生学習診断テスト
- 10日（木）諸活動なし
- 11日（金）内科検診③PM 尿検査2次
1年生学年練習
- 14日（月）教育実習開始～10月6日まで
諸活動なし
- 15日（火）生徒会委員会



- 16日（水）第50回清学祭合唱の部中止
創立50周年記念式典中止
- 17日（木）諸活動なし
- 18日（金）3年生進路保護者会
1年生学年練習（予備日）
- 21日（月）敬老の日
- 22日（火）秋分の日
- 24日（木）耳鼻科検診（1年・該当者）
ときわぎ級調理実習 諸活動なし
- 25日（金）内科検診④PM
2・3年生学年練習
- 28日（月）諸活動なし
- 30日（水）1学期分の通知表の配付



創立50周年記念式典並びに第50回清学祭の中止について

7月22日付け保護者通知にてお伝えしているところですが、9月16日（水）に相模女子大学グリーンホールにて開催予定でありました、清新中学校創立50周年記念式典及び第50回清学祭合唱の部は、諸般の事情からやむを得ず中止とさせていただきました。



また、清学祭体育の部につきましても本校の学校規模を考え、全員が集まって開催することは難しいこと、また、これまで清学祭に向けての取り組みが行われていないこと等を勘案し、上記のとおり、学年ごとに平常の日課の中で、体育的行事として実施することといたしました。楽しみにされていた方々には大変申し訳ございませんが、ご理解の上よろしくお願いたします。